

EDC1100-T ビーンタンク仕様



1人作業

電動平ベルトと光電センサを搭載。自動制御でタンクが満杯になるまで連続作業ができるので、1人で作業が可能

収納量 約100kg
ビーンタンク60kg + ミニコンテナ4個(約40kg)

※ゲージタイヤはオプションです。

EDC1100-C コンテナデッキ仕様



1~2人作業

ミニコンテナに脱莢したえだまめを直接収納することができます。ミニコンテナ10個積載可能。

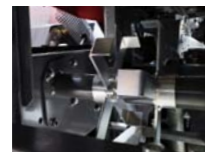
※ミニコンテナは別売です。

収納量 ミニコンテナ10個 (約100kg)

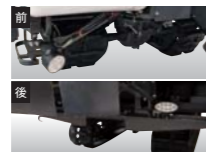
OPTION オプション



■ゲージタイヤ



■土落とし回転刃



■夜間作業キット



■脱莢ローラ4枚
ブレードキット

品番	品名	備考
5J145-A1000	EDCゲージタイヤキット	引抜部高さ調整容易化・安定化用タイヤ
5J145-A2000	EDC脱莢ブレードキット	引抜部でえだまめの根に付着した土を叩き落すブレード ※土質(強粘土質等)により十分な性能を発揮できないことがあります。
5J145-A3000	EDC夜間作業用足元作業灯・後退灯	夜間・暗所作業用の足元作業灯・後退灯
5J145-A4000	EDC脱莢ローラブレードキット	第2脱莢ローラブレードを4枚化

クボタえだまめコンバイン

For Earth, For Life



EDC1100-T (ビーンタンク仕様)
EDC1100-C (コンテナデッキ仕様)

2021年8月発売

えだまめ用コンバインが登場!



えだまめの **引抜き** **搬送** **脱莢** **選別** **収納** が

1台でスピーディに行える

※写真はEDC1100-T(ビーンタンク仕様)

※秋田県農業試験場の協力を得て開発した製品です。

■主要諸元

販売型式名	EDC1100-T		EDC1100-C	
全長 (mm)	4570			
機体寸法 全幅 (作業時) (mm)	1925 [2175]		1900 [2170]	
全高 (mm)	2005			
機体質量 (kg)	1405		1365	
種類	水冷4サイクル3気筒立形ディーゼル			
型式名	D902-E3B-HVSI-1			
始動方式	セルモーター式			
総排気量 (L/cc)	0.898 (898)			
出力 (kW/PSI/rpm)	14.7 (20.0) / 2900			
使用燃料	ディーゼル軽油			
燃料タンク容量 (L)	24			
走行方式	クローラ式			
クローラ	中心距離 (mm)	867		
	幅×接地長 (mm)	280×1150		
変速方式	HST無段変速 × 副変速2段			
走行速度	前進 (m/s)	作業: 0~0.60 移動: 0~1.62		
	後進 (m/s)	作業: 0~0.87 移動: 0~1.52		
適応作付	うね高さ (mm)	0~200		
	条間 (mm)	300以上		
引抜部昇降方式	油圧シリンダ(単動)			
収穫条数 (条)	1			
引抜方式	スポンジベルト挟持引抜方式			
脱莢方式	脱莢ブレード方式			
選別方式	風選(トウミ) + 選別ドラム			
適応作物	草丈 (mm)	500~1100		
	茎径 (mm)	10~20		
	地面から一番下の莢までの高さ (mm)	100以上		
収納方式	ビーンタンク		コンテナデッキ	
収納量	ビーンタンク: 60kg		コンテナデッキ: コンテナ6個(60kg)	
	コンテナ台: コンテナ4個(40kg)		コンテナ台: コンテナ4個(40kg)	
作業能率 (hr/10a)	1.2 [ほ場条件等により異なる]*			
作業人員	1		1~2	

*作業能率は、作物条件やほ場の状態、運転者の操作技術と機械の点検・整備や使用状況によって異なります。また、コンテナデッキ仕様の作業能率は2人作業の場合の数値です。
※主要諸元・形態は改良のため予告なく変更することがあります。

EDC1100でえだまめを収穫する際の注意点

●裸地栽培専用

裸地栽培専用のため、マルチ栽培・ハウス栽培には使用できません。

●着莢位置が高いこと

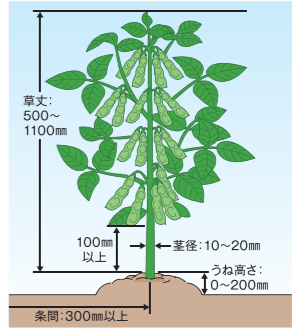
着莢位置が低いと莢が損傷したり、搬送・脱莢がスムーズに行われなくなるおそれがあります。特に早生品種は着莢位置が低くなる傾向にあるため、地面から一番下の莢までの高さを確認して下さい。

●枝が丈夫であること

枝が弱いと、枝が折れてしまい脱莢性能の低下や詰まりが発生するおそれがあります。

●根に土の付着が少ないこと

根に土が多く付着していると、搬送姿勢が乱れて詰まりの原因となるおそれがあります。特に粘土質の場合は付着しやすいので、収穫前に確認して下さい。また雑草もその原因となりますので、収穫作業前にできるだけ除去して下さい。



収穫後のえだまめの 洗浄について

収穫後洗浄までの時間が長いと品質が低下するおそれがあります。品質を低下させないよう出来る限り早く洗浄して下さい。



【販売元】株式会社クボタ
本社 大坂市浪速区歌津東1丁目2番47号
〒556-8601

【製造元】株式会社 青森農機製作所

本社 山形県酒田市両羽町332番地
〒998-0832

クボタ製品
WEBサイト



YouTube
クボタチャンネル



facebook
営業ナビ



製品の詳しいご相談は下記までご連絡ください。



取扱説明書をよく読んで正しく安全に使いましゅう。
農業機械はじゅうぶんに点検整備するように心がけましゅう。

コード 7-50-2-0026-02|212 SP, HA 21・6作成.3

高馬力エンジン

20PSエンジンを搭載。余裕をもって作業が行えます。



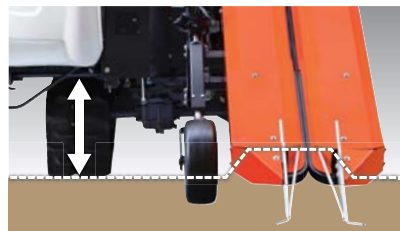
楽々操作

操作レバー類は手元に集約。引抜き部の高さ合わせや糸合わせはワンレバーで簡単に行えます。また、前進・後進、停止の切替えや車速の変更が主変速レバー 1本で自在に行えます。



自動モンロー

うねが高い場合や、凹凸の多いほ場でも、自動的に機体を水平に保つので安定した引抜きが行えます。



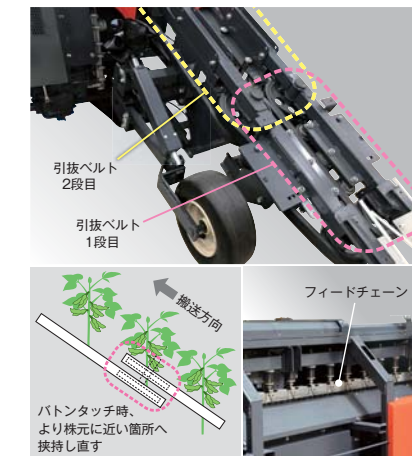
えだまめの収穫が 乗って楽に、高能率・高精度に行えます。



作業動画はこちら

2段引抜ベルト・フィードチェーン

引抜ベルトを2段構成にすることで、より株元に近い箇所を挟持して搬送し、株元の莢も脱莢できるので、収穫のロスが減り、高精度に収穫できます。また、引抜ベルト、フィードチェーンともに車速に同調して作動するので、安定した作業が行えます。



LEDライト

前照灯1個、作業灯2個、計3個のLEDライトを装備。早朝作業にも対応できます。



引抜き



スポンジベルトでえだまめをやさしくつかんで引抜きます。車速と連動して搬送速度が変化するので安定した引抜きが行えます。

搬送



引抜いたえだまめを挟持しながら90度横に倒し、脱莢部へ送ります。

脱莢



上下一対の脱莢ローラを2組配置し、えだまめをやさしく挟んで株元から莢をもぎ取ります。

選別



トウミによる風選別と突起付選別ドラムにより、枝・葉屑と莢をスムーズに精度よく選別します。

収納



莢はピーンタンクもしくはミニコンテナに収納。約100kg積載できます。

簡単排出 (EDC1100-Tピーンタンク仕様)

ピーンタンクに収納した莢を、後部のシュートからミニコンテナにスイッチ操作で排出できます。



▲写真はEDC1100-T(ピーンタンク仕様)